

(電子メール施行)  
農 技 第 1 7 5 6 号  
令和 5 年 10 月 16 日

関係各位

兵庫県病害虫防除所長

病害虫発生予察特殊報 第 3 号を下記のとおり発表しましたので、送付します。

### 令和 5 年度病害虫発生予察特殊報 第 3 号「トマトキバガの誘殺」

1 病害虫名 トマトキバガ *Tuta absoluta* (Meyrick)

2 発生地域 兵庫県加西市

#### 3 発生経過

令和 5 年 10 月 3 日、県立農林水産技術総合センター（加西市）内に設置しているトマトキバガ侵入調査用のフェロモントラップにおいて、疑義成虫 1 頭の誘殺が確認された（写真 1）。農林水産省神戸植物防疫所に同定を依頼したところ、10 月 6 日に、本県では未発生のトマトキバガであることが確認された。

本県では、令和 5 年 7 月に瀬戸内海沿岸部の非農耕地で成虫の捕獲事例があったが、農耕地周辺で発生が確認されたのは今回が初めてである。なお、県内では 10 月 10 日までのところ、トマト圃場において本種の幼虫は確認されていない。

#### 4 国内での発生状況

本種は令和 3 年に熊本県のトマトほ場で初めて確認されて以降、これまでに本県を含め 28 道県で発生が確認されている（10 月 10 日現在）。

#### 5 形態および生態

(1) 成虫（写真 1）は、翅を閉じた状態で体長約 5 mm（開張約 10 mm）である。前翅は灰褐色の地色に黒色斑が散在する。後翅は一様に淡黒褐色である。

幼虫（写真 2）は、1 齢～4 齢までの生育ステージがあり、4 齢（終齢）では約 8 mm になる。体色は淡緑色～淡赤白色で頭部は淡褐色。前胸の背面後方に黒色の横帯がある。

(2) 主な寄主植物はトマト、なす、ピーマン、ばれいしょ等のナス科植物で、マメ科のいんげんまめも寄主植物として確認されている。

(3) 1 年に複数世代を繰り返し、環境条件によっては年に 10～12 世代に及ぶこともある。卵～成虫になるまでの期間は 24～38 日程度である。成虫は夜行性で、日中は葉の間に隠れていることが多く、雌は一生のうちに最大約 260 個の卵を寄主植物の葉裏などに産み付ける。幼虫は寄主植物を摂食した後、土中や葉の表面で蛹化する。

## 6 被害の特徴

トマトの茎葉では、内部に幼虫が潜り込んで食害し、孔道が形成される。葉の食害部分は表面を残して薄皮状になり、白変や褐変する（写真3、4）。果実では、幼虫が食入するため、果実表面に数mm程度の穿孔痕が生じるとともに内部組織が腐敗し、果実品質が著しく低下する（写真5）

## 7 防除対策

- (1) ほ場内をよく見回り、見つけ次第捕殺する。
- (2) 発生を拡大させないため、被害葉や被害果実をほ場に放置せず、土中深くに埋没するか、ビニル袋などに入れて密閉し、寄生した成幼虫を全て死滅させた後に処分するなど、適切に処理する。
- (3) 現在、トマト、ミニトマトにおける、本種に対する登録農薬は表のとおり。薬剤散布にあたっては、最新の農薬登録情報を確認し、薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統が異なる薬剤のローテーション散布を行う。

## 8 問い合わせ先

兵庫県病害虫防除所（加西市別府町南ノ岡甲 1533）

電話番号 : 0790-47-1222

ファクシミリ : 0790-47-1821

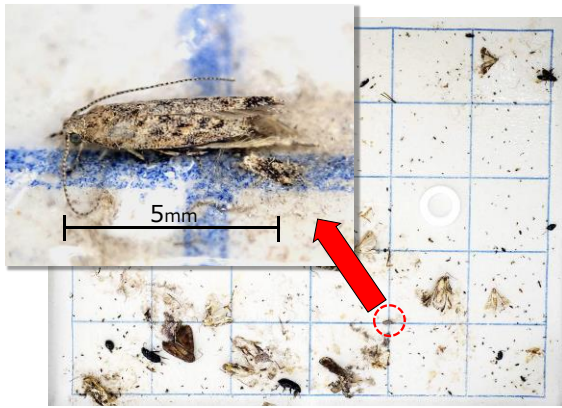


写真1 フェロモントラップで誘殺されたトマトキバガ成虫



写真2 トマトキバガ終齢幼虫



写真3 トマト茎内部を食害するトマトキバガ幼虫



写真4 トマトキバガ幼虫の食害による  
トマト葉の食害痕



写真5 トマトキバガ幼虫の食害によるトマト果実の食害痕

写真1：兵庫県病害虫防除所撮影

写真2～5：農林水産省植物防疫所原図

※写真の無断転載禁止

表 トマトキバガに登録のある薬剤

IRACコード	農薬の種類	農薬の名称	登録の有無	
			トマト	ミニトマト
5	スピネトラム水和剤	ディアナSC	○	○
		ラディアントSC	○	○
	脂肪酸グリセリド・スピノサド水和剤	ダブルシューターSE	○	○
6	エマメクチン安息香酸塩乳剤	アフーム乳剤	○	○
	アバメクチン乳剤	アグリメック	○	×
11A	BT水和剤	エスマルクDF	○	○
13	クロルフェナピル水和剤	コテツフロアブル	○	○
22A	インドキサカルブ水和剤	トルネードエースDF	○	×
22B	メタフルミゾン水和剤	アクセルフロアブル	○	○
28	シアントラニプロール水和剤	ベネビアOD	○	○
		ベリマークSC	○	○
	シアントラニプロール粒剤	プリロツ粒剤	○	○
		プリロツ粒剤オメガ	○	○
	フルベンジアミド水和剤	フェニックス顆粒水和剤	○	○
テトラニプロール水和剤	ヨーバルフロアブル	○	○	
30	フルキサメタミド乳剤	グレーシア乳剤	○	○
UN	ピリダリル水和剤	プレオフロアブル	○	○

\*この情報は、兵庫県病害虫防除所ホームページ  
 (<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/>) に掲載しています。